

サイサン環境保全基金助成申請内容について

【目次】

1. 助成申請の必要性	P2
2. 協議会活動で必要となる資材等（想定）	P3
3. 活用できそうな助成一覧	P4
4. 助成申請内容	P5

【ご注意】

本資料は、他団体と協議中の内容などは非表示としています。
ご了承下さい。

1. 助成申請の必要性

- ロードマップでは2023年度以降、①協議会や外部協力者、市民による“目標種調査”、②自然再生地の管理・活用、③自立した体制で実施する普及啓発活動に取り組んでいくこととなっております。
- これまでは、公益財団法人サイサン環境保全基金からの助成（上限50万円）を活用して、維持管理・普及啓発のための資材等を購入・製作してきました。
- 今後、協議会として取り組んでいく中で必要となる資材等を想定し、助成金が利用できるものについては、積極的に活用していくことが必要です。

荒川太郎右衛門地区自然再生事業ロードマップ

年度	2003~2007 (H15~H19)	2008~2011 (H20~H23)	2012~2019 (H24~H31/R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023~ (R5~)
事業計画	自然再生全体構想（2004.3公表・2006.5改訂・2020.2一部改訂）						
		自然再生事業実施計画書（荒川上流2011.1公表）		管理・活用計画の検討			管理・活用計画に基づく運営
自然再生整備	上池	試験掘削 呑口整備	本施工（～2015） 開放水面整備、湿地整備	工事完了（荒川上流）	植生管理	事業完了	出水による流入・攪乱や ハンノキ再生、 維持管理などにより 目標種の追加出現や 個体数増加を想定
	中池		本施工 (2017) 通路整備		広場の 在来種草地形成		
	下池	試験掘削 移植	本施工（～2019） ハンノキ生育地整備		ハンノキ再生		
モニタリング	整備地		生物相調査（目標種の確認に留意） 目標種調査試行	モニタリング計画検討	目標種調査		目標種調査 (協議会や外部協力者、市民による調査)
	地区全体	生物相調査	生物相調査 (3年サイクル)		維持管理 活動に関する調査	維持管理活動に関する調査 (協議会や外部協力者、市民による調査)	河川水辺の国勢調査として実施
体制・行動計画			マーケットリサーチ	体制・行動計画の確立			自然再生地の 管理・活用
普及啓発			助成金を活用したイベント等を開催				普及啓発活動 (自立した体制で実施)

2. 協議会活動で必要となる資材等（計画）

- ②自然再生地の管理・活用において、維持管理作業では、刈り払い機の買い足しを想定します。チガヤ群落の創出に向けては、昨年度はチガヤマットの購入を想定していましたが、本田航空（株）の機械除草によりチガヤ群落が見られ始めていることから、購入はしない方針です。
- ③自立した体制で実施する普及啓発活動では、関係機関との連携や広報に必要な資材の購入を想定します。

協議会活動で必要となる資材等（計画）

取り組み内容（例）	必要資材等	数量	単価 （千円）	年度別（千円）									
				2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
①協議会や外部協力者、市民による“目標種調査”	鳥類のモニタリング	双眼鏡											
	エキサイゼリのモニタリング	長靴											
	ミドリシジミのモニタリング	双眼鏡											
		捕虫網、虫かご											
サクラソウ群落移植地のモニタリング	長靴												
②自然再生地の管理・活用	維持管理作業	刈り払い機（エンジン式）											
		刈り払い機燃料											
		草刈り鎌											
	チガヤ群落創出	チガヤマット（約30m2）											
連携協働団体・企業の広報	看板												
③自立した体制で実施する普及啓発活動	主催イベント関連物品												
	東京デザイン専門学校との連携企画	広報物、グッズ等（製作費）											
	協議会の取組等の展示	展示パネル（制作費）											
イーゼル1個													
計													
申請額計	公益財団法人サイサン環境保全基金（上限500千円）												

非表示

助成金	公益財団法人サイサン環境保全基金
（上限）	関東・水と緑のネットワーク
計	

3. 活用できそうな助成一覧

	公益財団法人サイサン環境保全基金	関東・水と緑のネットワーク
概要	埼玉県における、環境保全に関する、自主的な、非営利・民間の活動、及び学術的調査研究に対する、助成を行います。〈団体、個人を問わない〉	<ul style="list-style-type: none"> ●対象地域：関東地域1都7県 ●対象とする取組み： <ul style="list-style-type: none"> A.拠点づくり（自然環境のネットワークの拠点となる水辺や緑地、草地などを保全・再生する活動） B.生態系ネットワークづくり（市民団体、学校、企業、自治体などの複数の主体との連携体制をつくる活動） ●対象団体：市民団体（法人格の有無・種類は問いません） など ※個人の取組は対象外です。
申込受付締切	2023年8月15日	2022年7月11日
助成決定	2023年9月中旬	2022年8月中旬頃（予定）
助成期間	2023年4月1日～2024年3月31日	2022年8月中旬頃～2023年3月10日
助成を行う条件と基準	<ul style="list-style-type: none"> ●適正に見積もられた計画と収支予算に基づいた活動であり、助成金の用途が具体的で明確であること。 ●同一の活動について、当財団と同様な他団体機関からの助成を受ける場合は、直接重複する助成は致しません。同時に、他団体機関に助成申請をする場合は、申請書にその旨明記して下さい。直接重複しない範囲で、他団体機関と並行して助成することはあり得ます。 ●催しへの参加を有償とする場合は、申請書にその旨明記し、その収入見込（予算）を添えて下さい。収入が、当該費用を上回る場合の助成は出来ません。印刷物を有料とする場合も同様です。 ●1団体への助成は1年度1回。等 	<p>[支援対象となる経費（例）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境保全活動に使用する物品購入費（木杭、ロープなど） ●広報物の作成費（パンフレット、チラシ、ウェブサイト、看板など） ●一般向け行事等の開催経費（講演会やシンポジウム、体験学習の会場費、講師の謝金・旅費、配布資料のコピー代、携帯用救急セットなど） ●団体の構成員の技能向上のための経費（専門家を招へいして行う植生管理や安全管理等に関する技術指導の経費など） ●環境管理作業の外部委託（保安全管理上の緊急性が高い樹木の伐採、草刈りなど）
助成限度額（年間）の目安	50万円 ※自己資金20万円未満の団体 連続10年助成を受けた団体は、少なくとも2年間は助成を受けることはできません。	<ul style="list-style-type: none"> A. 拠点づくり 1件あたり上限30万円を目安に支援 B. 生態系ネットワークづくり 1件あたり上限50万円を目安に支援 ※AとBは同時に申請できません。
応募の方法	応募は、所定の『助成金交付申請書』『プロジェクト・団体概要調査票』等に必要事項を記入し、以下の書類を添付し、締め切り日までに事務局宛て送付して下さい。（原則として郵送、当日消印有効。）	応募書類に必要事項を記入のうえ、締め切り日までに送付
助成を受けた後の報告の提出等	講演会等「催し」においては公益財団法人サイサン環境保全基金の助成を受けていることを参加者に伝えてください。報告書等印刷物の発行においては、（公財）サイサン環境保全基金の助成を受けている旨明記してください。助成を受けた活動については次の書類を提出してください。 ①活動報告シート、②自己評価表、③助成により作成した印刷物、④団体の事業報告書	本年度選定された団体は、2022年11～12月頃に関東・水と緑のネットワーク交流会へのご参加並びに活動報告をお願いします。

2023年度の募集情報なし
(記述は2022年度の資料より)

4. 助成申請内容

非表示

2023年度の助成申請内容

非表示

4. 助成申請内容

非表示

4. 助成申請内容

非表示

4. 助成申請内容

非表示